

# 形成外科のご案内

葉桜の候、諸先生方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。はじめまして、平成24年4月より市立池田病院に赴任いたしました、形成外科の福田健児と申します。市立池田病院に赴任する以前の10年間は兵庫医大に勤務しており、形成外科疾患はもとより眼瞼・眼窩疾患の診療にも力を入れてまいりました。(前述の10年間は非常勤医として大阪の多根記念眼科病院でも眼瞼・眼窩疾患を担当しておりました。)

諸先生方にも眼瞼・眼窩疾患でお困りの症例ありましたらご紹介して頂きたい、このたび案内を送らせて頂いた次第です。



## <略歴>

平成7年奈良県立医科大学卒業

大阪大皮膚科形成外科診療班(現在の形成外科講座)入局  
大阪厚生年金病院、大阪大学附属病院、千里救命センター、  
大阪警察病院、大阪船員保険病院 勤務

平成14年より兵庫医科大学勤務

平成18年より形成外科講師・医局長

日本形成外科学会専門医、日本創傷外科学会専門医、医学博士

形成外科部長：福田 健児医師

## <当番表>

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
外来	○	○	○	○第2・4	
手術				○第1・3・5	○

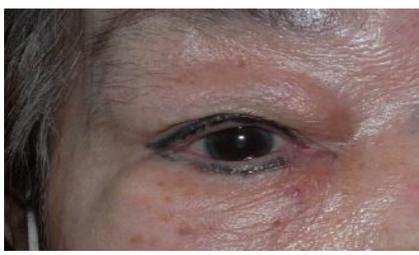


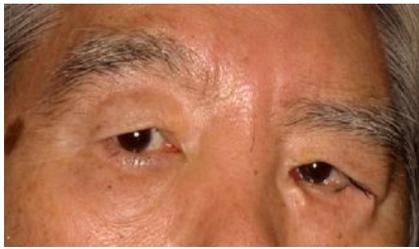
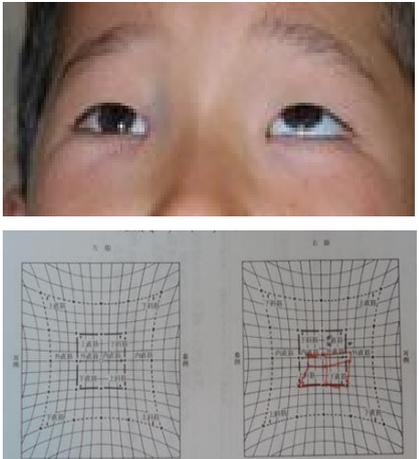
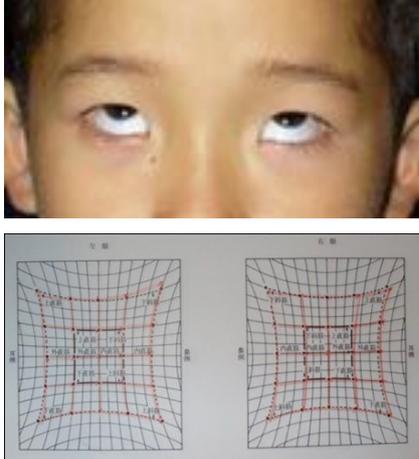
**地域の先生方と診療情報の共有を図り、**

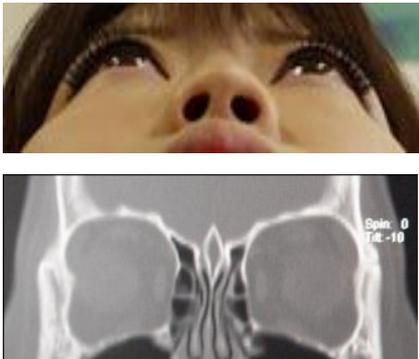
**患者さまを中心とした、地域全体で切れ目のない、**

**安全で安心な医療を提供します。**

当院で対応可能な眼瞼・眼窩周囲の疾患をご紹介致します。患者様のご紹介時のご参考になれば幸いです。

疾患名	術前	術後
<p>○老人性眼瞼下垂（腱膜性）            挙筋腱膜の前転し、必要に応じて余剰皮膚・皮下組織等の切除を行います。</p>		
<p>○先天性眼瞼下垂            筋膜（大腿または側頭筋）にて前頭筋と瞼板をつなぎます。いわゆる筋膜吊り上げ術です。</p>		
<p>○内反症、（老人性）            内反症</p>		
<p>○外反症（老人性）            外反症</p>		
<p>○内反症（若年）            下眼瞼</p>		
<p>上眼瞼</p>		

疾患名	術前	術後
<p>○兔眼 熱傷後のひきつれによるもの</p>		
<p>顔面神経麻痺によるもの</p>		
<p>○霰粒腫 皮膚との癒着がないものは結膜切開で、皮膚へ既に炎症が波及しているものは皮膚切開で行います。</p>		
<p>○涙嚢炎 涙嚢鼻腔吻合、場合により涙嚢摘出を行います。</p>		
<p>○眼窩吹き抜け骨折 整復し骨欠損が大きい場合は腸骨移植を行います。小児の場合外眼筋の絞扼を伴うこともあり、緊急手術になる場合もあります。 (右の下壁骨折で下直筋の絞扼による上転障害がありました。)</p>		

疾患名	術前	術後
<p>○眼瞼悪性腫瘍</p> <p>マイボーム腺癌、扁平上皮癌、基底細胞癌など。 必要に応じて切除し眼瞼を再建します。</p>		
<p>○甲状腺眼症</p> <p>ステロイドパルスが効かない視神経症や、著名な眼球突出に対して眼窩減圧術を行います (内側、外側の減圧をい3mmの改善を認めます。)</p>		
<p>○眼瞼痙攣</p> <p>不随意運動の一種でボトックス注射が第一選択になります。重症例では眼輪筋切除も併用します。 (ボトックスにより改善する症例。動画より。)</p>		
<p>○眼窩腫瘍</p> <p>浅在性の場合は局所麻酔で皮膚切開出来る場合があります。深在性の場合は全身麻酔を要します。</p>	 <p>(この症例は眼窩外側壁からアプローチしています。)</p>	

連絡先：地域医療連携室

電話：072-754-6379

FAX：072-754-6380

勤務時間

月曜～金曜：午前8時30分～午後8時00分

土曜日：午前9時00分～午後1時30分